

氏名 _____

令和8年3月2日実施 関東運輸局法令試験問題
(特定指定地域以外の地域)
解答用紙

I

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30	
31		32		33		34		35	

II

36		37		38		39		40	
----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

令和8年3月2日 関東運輸局法令試験問題
(特定指定地域以外の地域)

- (注意事項) 1 本試験問題については、特段の指示がない限り、令和7年9月1日現在で施行されている法令等に基づくものとする。
2 本試験問題中「タクシー」とあるのは、タクシー業務適正化特別措置法の問題を除き、「一般乗用旅客自動車運送事業用自動車」とする。

I 次の1から35までの文章で正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- 1 旅客自動車運送事業運輸規則においては、個人タクシー事業者に対して、タクシー車内に運賃及び料金並びに運送約款を旅客に見やすいように表示することが義務付けられています。
- 2 個人タクシー事業者が現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更する場合は、道路運送法に規定する認可手続きが必要です。
- 3 自動車の使用者は、道路運送車両法の規定に基づく点検を行い必要に応じ整備をすることにより、当該自動車を保安基準に適合するよう維持することが義務付けられています。
- 4 個人タクシー事業者は、事業用自動車を常に清潔に保持する必要はありません。
- 5 タクシー事業者の氏名若しくは名称又は住所に変更があった場合は手続きが必要ですが、個人タクシー事業者の氏名又は住所に変更があった場合も手続きが必要です。
- 6 タクシーの点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から1年間と定められています。
- 7 旅客自動車運送事業運輸規則には、事業者間の活発な競争を促進することが、その目的として規定されています。

- 8 道路運送法の規定では、地方運輸局長は、同法の施行に必要な限度において、タクシー事業者は、事業に関する報告をさせることができることとされています。
- 9 タクシー事業者は、旅客自動車運送事業等報告規則の規定により「事業報告書」を毎事業年度の経過後100日以内に、「輸送実績報告書」を毎年5月31日までに提出しなければなりません。個人タクシー事業者は「輸送実績報告書」のみ提出すればよいことになっています。
- 10 個人タクシー事業者は、氏名及び住所を明らかにした者から運輸に関する苦情の申出を受け付けた場合、一定の事項を記録し、かつ、その記録を整理して1年間保存しなければなりません。
- 11 道路運送法第5条第1項第3号の営業区域は、輸送の安全、個人タクシー事業者の利便等を勘案して、地方運輸局長が定める区域を単位としています。
- 12 時間距離併用制運賃は、一定速度以下の走行速度になった場合の運送に要した時間を時間制運賃で換算し、距離制メーターに併算します。
- 13 個人タクシー事業における業務記録の保存期間は6月となっています。
- 14 道路運送法の目的には、輸送の安全を確保し、道路運送事業者の利益を保護することが定められています。
- 15 タクシーには、非常時に灯光を発することにより他の交通に警告することができ、かつ、安全な運行を妨げないものとして、一定の基準に適合する非常信号用具を備えなければなりません。
- 16 個人タクシー事業者は、事業用自動車内に自動車登録番号等を表示しなければなりません。
- 17 タクシー事業の標準運送約款には、当該運送約款の趣旨及び法令に反しない範囲で当該運送約款の一部条項について特約に応じたときは、当該条項の定めにかかわらず、その特約によることが規定されています。

- 1 8 道路運送法において、タクシー事業者は、特定の旅客に対し、不当な差別的取扱いをしてはならないことが規定されていますが、特約があれば個人タクシー事業者はその適用が除外されます。
- 1 9 タクシー運転者が、旅客の現在するタクシーを運行中、当該タクシーの重大な故障を発見し、又は重大な事故が発生するおそれがあると認めたときであっても、運行を中止することはできません。
- 2 0 タクシー業務適正化特別措置法に基づく個人タクシー事業者乗務証は、タクシーの前面ガラスの内側に、個人タクシー事業者乗務証の表をタクシーの内部に、裏を外部に向けて、利用者に見易いように表示しなければなりません。
- 2 1 自動車事故報告規則の規定では、個人タクシー事業者は、自動車が転覆又は転落する事故を引き起こした場合には、30日以内に自動車事故報告書を提出するほか、電話等の適当な方法によって24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸支局長に速報しなければならないこととなっています。
- 2 2 事業報告書は、タクシー車内に常に携帯しなければなりません。
- 2 3 個人タクシー事業者は、天災その他の事故により、旅客が負傷（重傷）したときは、すみやかに、その旨を家族に通知しなければなりません。
- 2 4 事業の廃止をしようとするときは、道路運送法に規定する手続きが必要ですが、この際、提出する届出書には「廃止する理由」を記載する必要はありません。
- 2 5 個人タクシー事業の事業計画には、過労の防止について、明確に定めなければなりません。
- 2 6 旅客自動車運送事業者は、タクシーに応急修理のために必要な器具及び部品を備えなければ、当該タクシーを旅客の運送の用に供してはなりません。また、運送の途中において当該タクシーに故障が発生した場合に、これらの器具及び部品を容易に供給することができるときであっても、当該タクシーを旅客の運送の用に供することはできません。

- 27 個人タクシー事業の許可期限の更新申請書には、旅客自動車運送事業者が事業用自動車の運行により生じた旅客その他の者の生命、身体又は財産の損害を賠償するために講じておくべき措置の基準を定める告示（平成17年国土交通省告示第503号）で定める基準に適合する任意保険又は共済に加入していることを証する書面などを添付する必要があります。
- 28 個人タクシー事業者の場合、1年間に乗務する日数を予め定め、届け出なければ運行はできないことになっています。
- 29 個人タクシー事業の車庫について、その位置に変更がないものの、収容能力が変わる場合、事業計画変更の手続が必要です。
- 30 道路運送車両法の規定では、自動車（軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く。）の所有者は、新規登録をし自動車登録番号の通知を受けたときは、当該番号を記載した自動車登録番号標の交付を受け、当該自動車に取り付ければ、封印の取付けを受ける必要はありません。
- 31 個人タクシー事業者は、1キログラムの玩具用の花火をタクシー車内に持ち込む旅客に対しては、運送の引受けを拒絶することができます。
- 32 個人タクシー事業の許可を受けた者が、運賃及び料金の設定の認可申請をしようとする場合、当該認可申請書には設定を必要とする理由を記載しなければなりません。
- 33 個人タクシー事業者が、道路運送法に違反したときは、1年間自動車その他の輸送施設の当該事業のための使用の停止を命ぜられることがあります。
- 34 個人タクシー事業者は、道路の損壊により、輸送の安全の確保のため一時的に運行中止その他の措置をしたとき、タクシー事業の標準運送約款では、これによって旅客が受けた損害を賠償する責任は負わないと定められています。
- 35 個人タクシー事業者はタクシーに係る事故の記録を1年間保存しなければなりません。

II 次の条文の36から40までの（ ）内に入る正しい字句を下欄から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(道路運送法)

第十三条 一般旅客自動車運送事業者（一般貸切旅客自動車運送事業者を除く。次条において同じ。）は、次の場合を除いては、(36)を拒絶してはならない。

- 一 当該運送の申込みが第十一条第一項の規定により認可を受けた運送約款（標準運送約款と同一の運送約款を定めているときは、当該運送約款）によらないものであるとき。
- 二 当該運送に適する(37)がないとき。
- 三 当該運送に関し申込者から特別の(38)を求められたとき。
- 四 当該運送が法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき。
- 五 天災その他やむを得ない事由による運送上の(39)があるとき。
- 六 前各号に掲げる場合のほか、国土交通省令で定める(40)があるとき。

ア 負担	イ 適正な根拠	ウ 運送の引受け
エ 自動車	オ 支障	カ 対応
キ 正当な事由	ク 旅客の申込み	ケ 設備
コ 弊害		

令和8年3月2日実施 関東運輸局法令試験問題
(特定指定地域以外の地域) 模範解答

※ この模範解答は運輸局が公式に発表したものではなく、日個連東京都営業協同組合組織維持対策課にて判断・作成したものです。運輸局の見解とは異なる場合もあり得ますので、予めご了承下さい。

なお、実物の解答用紙の様式は用紙がB4サイズ縦で横10マスの4行ですが、A4サイズだと窮屈なので従来通り5マス8行のままにしています。

I

1	×	輸4	2	×	運11	3	○	車47	4	×	輸44	5	○	運施66
6	○	点検4	7	×	輸1	8	○	運94	9	×	報告2	10	○	輸3
11	×	運施5	12	×	運賃制度	13	×	輸25	14	×	運1	15	○	保安43-2
16	○	輸42	17	○	約款1	18	×	運30	19	×	輸50	20	×	特施12+35
21	○	事故2+3+4	22	×	報告2	23	○	輸19	24	×	運施25	25	×	運施4
26	×	輸43	27	○	期限更新	28	×	規定なし	29	○	運15ほか	30	×	車11
31	○	輸13+52	32	×	運施10-3	33	×	運40	34	○	約款9	35	×	輸26-2

II

36	ウ	37	ケ	38	ア	39	オ	40	キ
----	---	----	---	----	---	----	---	----	---

- 句読点だけの違いは既出扱いです。
- 27・33 は新型設問です。